

小金井農業のあゆみ（農業祭のあゆみ）

昭和の初期に青年団の事業の一環として農産物の品評会が実施されて以来、毎年品評会が行われるようになり、その後は植木・畜産を含めて品評会が行なわれ、昭和25年になって第1回農業祭（農業振興農産物品評会）が開催されました。現在は小金井市農業振興連合会主催で開催されています。

農業祭は、都市で農業を行う農家の生産意欲や農業技術の向上を図り、市民の皆様に都市農業の認識を深めていただくことを目的に開催されています。

昭和56年からは、野菜で仮装した車がパレードして市民の皆様に都市農業の重要性をアピールし、さらに緑化対策の一つとして植木・苗木を無料で配布し、農産物の展示品評会が行なわれ、審査後に販売されていました。JA東京むさし小金井支店で行なわれていた農業祭を平成15年から当時の面影を残しながら会場を市立第一小学校に改めました。さらに、平成23年からはより多くの市民の皆様に農業祭に参加していただけるよう、武蔵小金井駅南口にある小金井 宮地楽器ホール（小金井市民交流センター）及びフェスティバルコートに会場を移し、農産物の宝船の宝わけや農業絵画展などの催しも行われています。



品評会の様子（昭和39年）



品評会の様子（昭和39年）



仮装車パレード（昭和56年）



農業祭の様子（昭和63年 JA小金井支店）



農業祭の様子（平成20年 第一小学校）



農業祭の様子（平成20年 第一小学校）



宝船の様子（平成27年 フェスティバルコート）



植木会場（平成27年 フェスティバルコート）



農業絵画展（平成27年 小金井 宮地楽器ホール）



物産会場（平成27年 小金井 宮地楽器ホール）